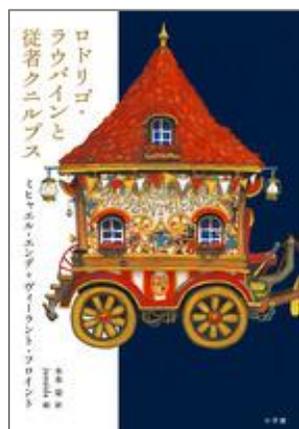


5・6年生から

『ロドリゴ・ラウバインと
従者(じゅうしゃ)クニルプス』(943エ)
ミヒヤエル・エンデ/作、
ヴィーラント・フロイント/作、
木本 栄(きもと さかえ)/訳(やく)、
junaida(ジュナイダ)/絵、小学館



ぼくは、クニルプス。嵐(あらし)の夜、人形劇団(げきだん)の馬車からひとりで飛び出した。盗賊騎士(とうぞくきし)ロドリゴ・ラウバインの城(しろ)を目指し、善(ぜん)と悪を区別できる大人(おとな)になるために。

ロドリゴの従者になるには、大きな危険(きけん)に満ちた悪事をはたらかなくてはならない。

はたして、度胸(どきょう)だめしに出かけたぼくは……!?



お知らせ

桶川市電子図書館



(おけがわし でんし と しょかん)

桶川市電子図書館

図書館リョウカードとパスワードを持(も)っていて、桶川市内(しない)に住(す)んでいる人、桶川市内の学校(がっこう)に通(かよ)っている人、桶川市内ではたらいっている人が使(つか)えます。

図書館カレンダー

3月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。					
おはなし会	桶川(おけがわ)図書館 (TEL 771-0303) 川田谷(かわたや)図書館 (TEL 786-8846) 毎週土曜日 午前10時30分~11時					
	坂田(さかた)図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時~11時30分					
	中央(ちゅうおう)図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時~3時30分					

☆これまでの「もりのくまさん」は、桶川市図書館のホームページ(図書館メニュー>児童(じどう)向け図書館だより もりのくまさん)から見(み)られます。



桶川市図書館

☆今月の「もりのくまさん」は小学生向(む)けです。

No. 4 | 5



もりのくまさん

おけがわしとしょかん



2026年3月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

3月3日は、ひなまつりです。

そこで、今月は、「人形(にんぎょう)」の本を紹介(しょうかい)します。



手作り小路へ ようこそ

『手作り小路(てづくりこうじ)のなかまたち』(913シ)

新藤 悦子(しんどう えつこ)/著(ちょ)、
河村 怜(かわむら れい)/絵、講談社

手作り小路にあるカフェ「ビーンズ」には、おいしいコーヒーと料理(りょうり)でくつろぐお客(きゃく)さんがあつまります。かなめちゃんと豆(まめ)にい、ふしぎな人形(にんぎょう)タマムさんは、料理と小物(こもの)で大好(だいす)きなひとたちを笑顔(えがお)にしています。



ぜひ、あなたも手作り小路のみんなに会いにいらしてみてください。料理と小物のレシピつき。

1・2年生(ねんせい)から

『ひなにんぎょうができるまで』(759ヒ)

ひさかたチャイルド

三月(がつ)三日(みっか)の
ひなまつりにかざる
ひなにんぎょう。

このほんでは
ひなにんぎょうが
できるまでと ひなまつり
のことを しゃしんで
わかりやすく おしえてくれます。

きれいな きものを きせたり、かおを かいり、
しよくにんの しごとのようすが しょうかい
されています。にんぎょうの やくわりや
もっている どうぐの いみも わかります。

いろんな ひなにんぎょうが でてくるよ。



『ふしぎなお人形(にんぎょう) ミラベル』(Eフ)

アストリッド・リンドグレン／作(さく)、

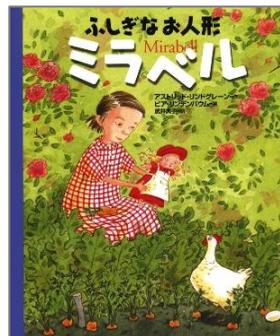
ピア・リンデンバウム／絵(え)、

武井 典子(たけい のりこ)／訳(やく)、偕成社

ブリッタ=カイスは
お人形がだいすきな
女(おんな)の子(こ)。
ある日(ひ)、ブリッタは
馬車(ばしゃ)にのった
おじいさんから
金色(きんいろ)にかがやく
たねをもらいました。

そこで、すぐにそのたねを小(ちい)さな畑(はたけ)
にうえて、大事(だいじ)に育(そだ)てました。

やがて土(つち)の中(なか)からでてきたのは……。



3・4年生から

『カルペパー一家(いっか)のおはなし』(933ア)

マリオン・アピントン／文、

ルイス・スロボドキン／絵、

清水 眞砂子(しみず まさこ)／訳(やく)、瑞雲舎

カルペパー一家は、デビーの
お父(とう)さんが切りぬいて
作った紙人形(かみにんぎょう)です。
ハンサムなカルペパーさんと、
おもいやりのあるカルペパー
夫人(ふじん)と、4人の男の子と、
4人の女の子のなかよし

家族(かぞく)です。みんなは
すてきな赤い家(あかいか)でくらしています。家族(かぞく)の毎日(まいにち)は、
ドキドキわくわくの出来事(できごと)でいっぱい！

さあ、紙人形(かみにんぎょう)一家(いっか)の暮らし(くらし)をのぞいてみませんか。



『針(はり)も糸(いと)もつかわない 超(ちょう)かんたん

推(お)しぬい』(594ハ)

寺西 恵里子(てらにし えりこ)／作、汐文社

大好(だいす)きな推しメンや
キャラクター、ペットなど
みなさんの心がワクワクする
ような、お気に入りの推しぬいを
作(つく)ってみませんか？ 針(はり)も糸(いと)も
つかわないので、はじめてでも
大丈夫(だいじょうぶ)！

お友達(ともだち)同士(どうし)、作り合(つく)って交換(こうかん)するの
も楽しいかも!!
パーツを自由(じゆう)に組み合(く)わせて、世界(せかい)に
一つだけ(ひとつだけ)のかわい(かわい)い推しぬい(おしぬい)を作(つく)ってみてね。



5・6年生から

『人形浄瑠璃(じょうるり)＜文楽＞(ぶんらく)って
なんだ!?

ふれてみよう! 伝統芸能(でんとうげいのう)』

(777ニ)

児玉 竜一(こだま りゅういち)／

監修(かんしゅう)、ほるぷ出版



みなさんは、文楽(ぶんらく)という伝統芸能(でんとうげいのう)を知(し)っている
かな？ 語り(かたり)と音楽(おんがく)でお話(わたり)を聞(き)かせる芸(げい)と、人形(にんぎょう)を
動か(うご)かす芸(げい)が会(あ)って進(しん)化した人形劇(にんぎょうげき)に
にんぎょうげき)、それが文楽(ぶんらく)なんだ。

語り(かたり)が人間の感情(かんじょう)をすみずみまで
表現(ひょうげん)し、三味線(さんまいせん)の音(ね)が
その語り(かたり)を助(たす)け、人形(にんぎょう)はまるで生(なま)きている人間の
ように動(うご)く。

人形劇(にんぎょうげき)と聞(き)くだけでは想像(そうぞう)できない、
奥(おく)の深い世界(せかい)へ一歩(いっぽ)をふみ出(で)そう！

